## 平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 37

1 事務事業の表示

該当

事	務事業名	陶芸推進事業										
	価 者	担当課名			教育振興課			担当係	名	生涯教育係		
評		^/* TEL E+I\	職名		課長			職名	係長			
		管理職	氏名		高橋健仏	_	作成者		氏名	大和良成		
事	業の概要	陶芸という芸 親しむことが ている。	術文化 でき、ま	活動た世	]を通して、 上代間の玄	子ども を流事業	から	大人まで 図るよ <u>?</u>	で幅広く も推進し	全体計画       (平成 20       国・道・       地方       その       一般則       事業費	支出     千円       債     千円       他     千円       才源     3,800 千円	
実	施方法	直営			民間委託		その	の他(	)			
第5期総合計画(前期			期)		登載事業	Ě		非登載	事業	優先度	В	
		政策目	目 標	3	のびやか・雄武~教育・文化の振興~							
		基 本 施 策 # 芸術・文化の振興										
事	業の位置付け	単 位 旅	も 策	2	芸術・文化活動の促進							
		事務事業の種類			自治事務 法定受託			託事務	争務			
		その他計画・	根拠等									
	実施年度	20年度(実績			<u> </u>		度(見込)		23年度(計画)		24年度(計画)	
事業費	国·道支出金	千円		千円		千円		千円		千円		
	地方債	千月			千円		千円		千円		千円	
	その他財源 雄武町負担額	千月			千円			千円	千円		千円	
	(一般財源)	772 <mark>千月</mark>	円	7	726 千円	760		60 <mark>千円</mark> 7		760 千円	760 <mark>千円</mark>	
	合 計	772 千日	<del>၂</del>	726 千円			760 千円		7	60 千円	760 千円	

442

2 事務事業の目的・内容(Plan·Do)

【誰、何が(対象)】	<mark>は、何が(対象)】</mark> 町民		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理 論上の成果指標)					
【抱える課題や ニーズは】	陶芸愛好者による自立した活動へのシ フトが不十分である。	年間利用者数						
\\\	フトかれーカとめる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値					
	陶芸工房管理人体制の現状維持と文化 の伝承等活動の中核的な役割。	年間利用者数	目標年度	平成21年度				
【どのような状態 になることを目指			目標値	600 人				
したのか(意図)			実績値	509 人				
			達成度	84.8 %				
【その結果、どの	陶芸文化の継続と文化的な活動の活性 化。		目標年度					
ような成果を実現			目標値					
したいか] 成果 = 目的			実 績 値					
13CA [ [ ] 1			達成度	%				
内容(どのような手段で何を行ったか)								
陶芸活動の推 進	産業まつり、町民文化祭への作品出品							
管理人配置	陶芸愛好者への指導(3名配置、週3日開放)							

2 東次東米の河	·/= / c	h l- )				裏			
3 事務事業の評価(Check) (1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業									
	を実	施しない場合の支口	章、既存事務事業と	の機能重複な	P見直しによる対応可能	生)			
必要	□ 義務的なもの □ 全部 □ 一部		社会教育の責務として陶芸事業も徐々に根付いており、事業の実 施は必要である。						
必要/概ね必要/ 課題あり									
(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)									
概ね有効	<mark>状況</mark> 」  這	た目標値の達成 E成 ほぼ達成	人口が減少するな: 〈、今後も安定した		数については大きな変動 終続される。	がな			
課題あり	下	回る							
(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)									
概ね効率的 効率的/概ね効率		判断の理由 事業費抑制 員削減 問短縮·作業軽減	施設に係る維持経費 営を図っているなか		上しており、愛好者で自主 が定着している。	的な運			
的/課題あり	7	<del>-</del> の他							
(4)事務事業の公平	性								
公平/概ね公平/ 公平でない	三	判断の理由 を益者負担がある を益者負担がない を益が一部に偏る の他	施設の維持管理は 費等は利用者負担と		るが、陶芸活動に係る燃料	l、材料			
<ul> <li>4 総合評価【A ~ D】</li> <li>A∶計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等</li> <li>B∶ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等</li> <li>C∶当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等</li> <li>D∶事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等</li> </ul>									
自己評価	<u>価(一次</u>	欠評価)	評価会議評価(3	二次評価)	町長評価(三次評価	<u>ti</u> )			
	<u> </u>								
生涯学習の観点に 施策であり,陶芸推 で,計画どおり事業	進の振	興・発展を図る上							
<mark>今後の展開方</mark> (Action)	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \								
継続/	′ 現壮	大維持							
陶芸も徐々に根付い 活動の推進・発展に る。今後は利用者の はあるが、当面は現	:は町の )自立を	)支援が必要であ :促すことが重要で							
*展開方向の区分 継続/現状約	生持又に	は拡充又は縮小又は	統合又は内容の見直	 し·変更	終了休止	廃止			
5 その他特記事項	頁(アン	/ケート調査など外	部評価を受けた場合	は、その旨言	2入)				